

令和6年度 授業改善推進プラン教科別計画 【社会科】

学年	作成者	現状分析による課題	具体的な改善策 「いつまでに」・「どのように」・「どの程度」	
			短期的な改善策	中・長期的な改善策
1年	渡邊	①基礎的な知識の定着。 ②資料を正しく読み取る力。 ③自分の考えを根拠を明確にして説明する力。	①毎授業、目標をどの程度達成できているのか自分の理解度を把握できる振り返りの課題設定を行う。 ②資料を読み取る際のポイントを示し、資料の読み取りを繰り返し行う。まずは資料の読み取りに慣れる。 ③振り返りではペアワークで自分の考えを述べたり、ノートに課題に対しての考えを述べたりすることで説明する力を身に付ける。	①単元テストを行い知識の定着を図る。 ②資料を読み取る際のポイントを示し、資料の読み取りを繰り返し行う。 ③調べ学習を通して課題を把握し自分の考えを発表する。
2年	藤原	①基礎的な知識の定着。 ②資料を正しく読み取る力。 ③自分の考えを、根拠を明確にして説明する力。	①毎授業、目標をどの程度達成できているのか自分の理解度を把握できる振り返りの課題設定を行う。 ②資料を読み取る際のポイントを示し、資料の読み取りを繰り返し行う。まずは資料の読み取りに慣れる。 ③振り返りではペアワークで自分の考えを述べたり、ノートに課題に対しての考えを述べたりすることで説明する力を身に付ける。	①単元テストを行い知識の定着を図る。 ②資料を読み取る際のポイントを示し、資料の読み取りを繰り返し行う。 ③調べ学習を通して課題を把握し自分の考えを発表する。
3年	大野 久保	①社会科を好きな生徒が少ない。 ②基礎的・基本的な知識の定着が不足している生徒が少ない。 ③資料を読解・分析については、これまでの学習の成果があり、苦手な生徒が減ってきているが、自分の考えをまとめたりすることが苦手な生徒が少ない。	①新聞・テレビなどのニュースを題材として、より深い内容の社会的事象に関心をもたせる。 ②資料活用の技能を伸ばし、知識力・理解力を向上させるためにワークシートに記述させる機会を増やす。また、語句の意味を明確に表現させることで、知識力・理解力の定着を図る。 ③思考力や判断力を高めるために、プリントに考えさせる問題をつくり、グループ学習など活動型授業を取り入れることで、自分の意見を発表させる時間をつくる。	①日々の生徒の様子や、定期テストの結果から、生徒のつまづきを把握する。 ②様々な資料をていねいに読み取らせ、読解力を高めるとともに、その内容が必要な知識につながるように授業を行なう。 ③多角的な考察を深め、個人の考えを発表する機会を増やすために、グループ学習の時間を増やす。 また、単元ごとにまとめの時間を設定し、復習する機会を設ける。ワークの提出を行なうことで、家庭などで復習する機会を増やし、基礎・基本の定着を図る。